



第121号

2014-2015年度 主題

国際会長：Wichian Boonmapajom “Mission with Faith”

「信念のあるミッション」

アジア会長：Edward K. W. Ong “Through Love, Serve”

「愛を持って奉仕しよう」

東日本区理事：渡辺 隆 「原点に立って、未来へステップ」

湘南・沖縄部長：今城高之 「一人ひとりが愛と平和の種をまこう！」

クラブ会長：辻 剛 「初心に帰り、世のため、人のため」

—喜びと楽しみを求めて—



今月の聖句

「わたしたちはどう祈るべきかを知りませんが、“霊”自らが、言葉に表せないうめきをもって執り成してくださいからです。神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということを、わたしたちは知っています。」

ローマの信徒への手紙8:26, 28

2016年5月本例会

設立10周年記念特別例会

日時：5月21～22日

場所：富士山YMCA

司会：今城高之

記念例会 13:00～13:50

開会点鐘 辻会長

ワイズソング・信条 一同

今月の聖句 相賀牧師

ゲスト・ビジター紹介 司会者

会長挨拶 辻会長

経過報告 鈴木 茂

来賓挨拶

誕生祝い

5月11日 岡崎さよ子さん

5月13日 生井知三さん

5月20日 林 理子さん

5月21日 鈴木 茂さん

5月29日 相賀由美子さん

YMCAの歌 一同

閉会点鐘 辻会長

記念撮影

14:00～16:00

・記念シンポジウム

コーディネーター：山添 訓

・BBQパーティー 16:30～18:30

・室内懇親会 19:00～

22日 7:00～7:30 早天礼拝

8:00～朝食

「巻頭言」



横田 孝久

年をとるとともに、自分の使える時間は増えてきます。その時間をどう自分らしく使うかで人の生き方は変わってきます。やった事のないようなことに勇気を持って挑戦する、目標を持って前向きに、何でも楽しむという余裕の気持ちで取り組むことが必要だと思ふ。

そしてそれは失敗してもいいので、実際に自分の目で見て感じて体験したことは、どんなことでも自分の力になっていくのではないのでしょうか。

そこで小生にとってはちょっとハードルの高いことを考えてみました。

それは「人間の安全保障」について今だから考える必要があるという事です。

人、物、金、サービス、映像などすべてが容易に国境を越える今日、人間の安全もたがいに依存を深めています。人類が一つの地球上で生態系や科学技術だけでなく、社会のあり方さえも分かちあっている以上、一人ひとりの安全、社会の安全、国家の安全は他に(他人・他の国など)いやが応にも左右されます。そして近年政治の自由化で民主主義へ向かって新しい機会が生まれましたが、同時に一国の中でも多くの犠牲者や避難民を伴う紛争や貧困など先進国が途上国かを問わず、人々は常に安全を脅かされながら生きているのが現代だと思います。

また、近年では「国家の安全保障」多様な脅威について、我々の理解も増してきました。国境、国民、制度、価値観に加え環境汚染、国際テロ、人口移動、HIVエイズなどの感染症のように新たな危機要因を理解しなければなりません。

「人間の安全保障」の実現には、多くの局面で、社会から排除された人々を取り組む必要があります。明日、来週、来月、来年といった将来について十分な自信をもてるようになること。すなわち、人々を保護し、その能力を強化することは、人々が安全にかつ尊厳をもって暮らしを創造することでもあります。

こう思うと「人間の安全保障」は「国家の安全保障」に取って代わるものでなく、これを強化することではないのでしょうか。我々ワイズも少なからず、CS活動やエイズフォーラム、子供の貧困など様々な問題に関わっています。つづきワイズもこれからの10年、100年に向けて地球丸ごとハウマッチで平安であるようにと祈り、我々一人ひとりも行動を冒頭の如く、楽しく余裕を持って歩みだしましょう。ポストに横浜YMCA田口総主事から私の誕生日カードが入っていました。有難うございます、これからもYMCAに少しでも尽くしていきたいと思ひます。

前月データ

例会出席	18名	在籍会員数	19名	各種記録	前月	累計
メンバー	16名	月間出席数	18名	使用済切手	0g	1,000g
ビジター	1名	メンバー	2名	プルタブ	0kg	10.4kg
ゲスト	1名	月間出席率	95%	スマイル	19,000円	185.311円
					クラブとして2万円熊本Y支援に募金	

## &lt;4 月本例会報告&gt;

日時:2016年4月22日(金) 18:30~20:15

会場:かけはし都筑

参加者:相賀、今城 H・T、岡崎、岡田 K・M、久保、鈴木 K・S、  
辻Ts、生井、林 M・S、福島、山中、横田

ゲスト:武田暁明さん、

ビジター:太田勝人さん

4月本例会は、開会セレモニーに続いて4月から横浜北YMCAの館長となり、クラブ担当主事になった山中奈子さんの入会式が行われました。



卓話は、東京世田谷クラブの太田勝人さんによる「日本の学校教育に提言したいこと」副題—我が子のドイツとアメリカでの教育を実体験して—とした9年間の海外駐在の体験談を伺いました。



ドイツに赴任されたのは、お嬢さんが小学校3年生の時、お嬢さんをドイツの小学校に転校させた時の話をされました。「ドイツでは、ドイツ語を話せない外国人が編入する事を前提としたプログラムが組まれており、学校側の受け入れ態勢が整っていた。お嬢さんは日本で九九を学習してからドイツに行ったので、算数では九九が出来たためにクラスで一番となり、それが評価されていじめに会うこともなく過ごすことが出来た。

その後、アメリカのロサンゼルスに移り、やはり現地の学校へ編入した。アメリカでの教育は、一人一人の良い点を見つけ出し、皆の前で褒めて、その才能を伸ばすことに重きが置かれていた。自分の意見が言える事、相手の言った事に反応出来る事、ディベートとレスポンスを身に付けることが教育の基本となっている。

日本では、あいまいな言葉や動作で明確な意思表示をしない文化があるが、違いは違いとして認め合い、ディベートし合っていくことが、人間社会を豊かにしていく教育の原点ではないか。」とのお話でした。

(岡崎さよ子 記)

## &lt;5 月事務例会報告&gt;

日時:2016年5月10日(火) 18:00~20:15

会場:田園都筑教会・懇親会「一心」

出席者:今城 H・T、岡崎、岡田 K・M、久保、鈴木 K・S  
田中、辻Ts、林 M・S、福島、横田

記念例会を目前に控えた最後の事務例会です。黙祷を行い、次第に沿って議事に入りました。

➤ 協議

◇ 記念例会関係打ち合わせ

○概算予算の収入としては、登録費5千円、参加想定40名で20万円。経費として25万円弱。記念誌予算を含めると、差引き約10万円の赤字が想定される。

つづきクラブとして臨時会費を徴収したい。YMCA関係ワイズは2千円、他は5千円とする。招待パネラー2名は交通費を負担し、参加費用は無料とする。メンバーの宿泊は全員同じ6人部屋とする。メンバー以外の参加者は締め切り日の5/10現在24名。今後、若干増える予定。

○記念例会プログラムは資料にある予定通り。記念品贈呈の植樹は取りやめる。メンバーはブルーのポロシャツを着用する。

○準備および役割分担は配布された表のとおり。

追加の野菜を用意する。飲み物はビール(350cc24×4)お茶・水 20×18、ペットボトル 50本。追加の飲み物はメンバーの献品を期待する。

◇ 記念誌関係打ち合わせ

フルカラーの試作が出来上がった。一部追加訂正がある。

◇ EMC関係(三木直子さん入会および武田さんの件)

入会には例会への出席2回が求められる。候補者には再度入会の確認をする。

◇ 対アーモンド賛助会費納入の件

前回に引き続き1万円を納入する。

➤ 報告・連絡・確認事項等

◇ 5・6月の予定確認(年間予定表にて)と追加事項

○ 6/6~6/7にBF代表としてチリ人(38歳)が一人横浜へ来る。接待の基本スケジュールは横浜クラブの金子ワイズが立てる。つづきクラブとしては辻Tsと今城Tが協力し対処する。

○相川CS事業主任企画のCS関係写真コンテストに辻Tsが4枚応募した。

東北大震災地訪問の「みやま荘」「みなみ保育所」関連の写真です。

◎5/22(日)東京多摩みなみクラブ設立総会出席者確認  
辻Ts、鈴木S出席。林Sはチャーターナイトに出席。

◎5/25(水)災ボラネットワーク総会出席者確認

辻Ts、林S、出席。

◎5/28(土)横浜YMCA会員総会出席者確認

個々に出席・欠席を連絡しているので省略。全員維持会員のため多数出席の見込み。

◇ 報告

◎「みんなの家」報告(COCO)(今城H)

7月に集会がある。



- ◎「みんなの家」報告（ポピー）（鈴木K）  
通常通り。
- ◎「アーモンド」報告（林M）  
5/28（土）より子供への給食を始める。調理ボラが始まる。
- ◎TKB活動報告（今城H）  
毎月の岡崎ワイズ宅での誕生日カード作りは順調に進んでいる。
- ◎歌声広場報告（久保）  
菊名北YMCAでの本日の歌声広場は62名が集まった。今までになく盛り上がった。新規参加者が4名いた。
- ☆ 今月・来月のCS活動確認（月別担当者予定表）  
前回の実績（各自自分が予定表の通りだったか）報告、次回の担当者変更など
- ◎調理ボラ 先方よりのスケジュール表との確認
- ◎傾聴ボラ 予定通り
- ◎送迎ボラ 予定通り
- ☆ ブリテン5月号  
原稿寄稿依頼内容の確認（今月の協力者：岡田M）
- 閉会点鐘
- ◎ 懇親会：「中華料理一心」にて。  
マーシャル：今城T、福島により20：30～で予約済。費用は格安、満腹でした。

（岡田 勝美 記）

### <第2回部長クラブ公式訪問>

～金沢八景クラブ～

湘南・沖縄部長 今城高之

去る3月24日（木）、金沢八景YMCAにおける金沢八景クラブの3月定例会に出席させていただきました。

19時より開催された例会は、門松会長の点鐘と井上担当主事の聖句朗読により開始。

今回の主な話題は去る2月に開催された、同クラブの目玉イベント「東日本大震災復興支援 第10回チャリティー芸能まつり」の報告ならびに支援金を届けに行かれた台湾台北YMCA訪問でした。

「芸能まつり」は、地元の方々が参加して、出演料を「払って」歌や踊りを楽しむ会で、今回の場合、カラオケ99組、舞踊・剣舞12組という参加者が、3千円から5千円という出演料を払いました。

プログラムへの広告掲載料、募金・祝儀などを含めると、合計70万円程の収入があったと聞きます。

運営費用を差し引いた収益が30万円余りで、そこから十数万円を被災地支援金へ、残りはクラブの運営資金に充当されます。

本年度は、横浜YMCAが行った「台湾地震緊急支援募金」事業に参加し、上記の支援金を含む横浜YMCAの募金30数万円を、八景クラブの代表が現地台南YMCAを訪問してお届けしたそうです。まさに「一石数鳥」ともいえるチャリティー芸能まつりの効力には感心しましたが、結構手間暇のかかる芸能まつりの運営を10年間続けてこられたクラブの皆さんの努力の賜物というこ

とでしょう。

敬意を表します。その他例会では、今後の行事日程やそれぞれへのメンバーの参加者確認を行い、クラブ活動の円滑化に配慮しておられることがよく読み取れました。約1時間の例会を終え、何人かの有志の皆さんに近くの憩いの場所に誘われ、しばしの歓談を楽しみ公式訪問を終えました。

### <厚木クラブ部長公式訪問同行記>

部書記 林 茂博

4月27日（水）今城湘南・沖縄部長の厚木クラブ公式訪問に、社会長と共に同行しました。厚木クラブの訪問が、第2回公式訪問の締めくくりとなる、部長活動の節目の訪問でした。

厚木クラブの例会は、いつ訪問してもワイズの伝統的な形式を整えた格調高い雰囲気の例会運営がなされています。



卓話は、浅羽ユース事業主任のご紹介で、厚木在住の関口倫正さんによる「小田急ロマンスカー全駅+沿線通過ビデオ制作裏話」でした。話術も巧みで、映像は迫力満点の素晴らしい卓話を伺うことが出来ました。お土産に「小田急ロマンスカーはこね号全駅+沿線通過ビデオ」をいただきましたので、みなさんへお見せする機会を作りたいと思っています。

### <第4回湘南・沖縄部役員会報告>

日時：2016年4月23日（土） 15：00～17：00

場所：横浜中央YMCA 501号室 出席者：15名

・報告事項

今城部長から第3回東日本区役員会報告と文献・組織検討委員会から提案された「部活性化についての提案」が報告された。

・議案審議

第1号議案 部則第8条第4項改正に関する件

第2号議案 部則施行細則第2項部役員の選出改正に関する件

2件の議案について討議し、「部則の改正について部則改正委員会へ諮問する」ことを議決承認した。

鈴木 茂委員長に委員会構成員を確認し、委員に欠員がある場合は所属クラブから新委員を選出し、改正案を評議会へ答申することを了承した。

・報告・連絡事項

部書記から、東日本区大会（長野）部活動報告資料提出依頼と部長通信第4号寄稿依頼（5月末締切）があった。

終わりに加藤監事から、「部則・細則の検討は区定款見直しとも相俟って時機を得た取り組み」と講評があった。

### ＜横浜北YMCAだより＞

4月から新しいスタッフを迎えて元気な横浜北YMCAです。新人スタッフ6名、他YMCAからの異動者1名を併せて総勢19名となりました。新しい事業も増え、これからの期待も高まります。

4月14日に発生した熊本での地震被害への支援として、4月24日（日）に新横浜駅において街頭募金をおこないました。1週間程度の募集期間ではありませんでしたが、大人・子どもあわせて40名の参加がありました。子どもたちも募金箱を持って、とても頑張ってくれました。1時間ほどの時間でしたが、11万3052円の募金がありました。館内での募金やワイズのみなさまからの募金などを併せると5月1日現在で338,007円となりました。

次の街頭募金は5月下旬を予定しています。

4月26日（火）から鶴見地域ケアプラザにおいて鶴見区寄り添い型学習支援「つるみ未来塾」の運営委託がはじまりました。「つるみ未来塾」は様々な事情により健全な育成環境を維持することが困難な生活保護世帯等の子どもに対して、将来の進路選択の幅を広げ、自立した生活を送れるように高校進学を目指すことを目的として、勉強会を実施します。52名の中1～3年生の子どもたちが大学生を中心としたボランティアと共に学習に励んでいきます。中学3年生は高校合格を目指して勉強を進めていきます。

4月29日（祝）には、毎年恒例のヘルシーキッズデイが行われ、150名の参加がありました。「さかあがりチャレンジ」「かけっこいちばん!」「親子ヨガ」「親子でスイミング」など子どもだけでなく、保護者も参加できるイベントとなっています。「さかあがりチャレンジ」では、鉄棒を使った練習方法はもちろん、学校や家庭で練習するきっかけとなれば…とマットや棒を使った練習方法なども紹介しました。また、クラフトブースでは「カーネーションを作ろう!」と題して母の日に送るカードや花束を作りました。4月29日～5月30日までをヘルシーキッズキャンペーンとして家族でこどもの健康を考える時間を持ってもらえるようにしています。

《6月行事予定》

6月9日 発達障がい勉強会「中学校の選択」

6月23日 発達障がい勉強会「小学校入学までにやっておくこと」

横浜北YMCA 館長 山中奈子

### 6月例会予告

6月本例会は、卓話者に原町教会伝道師夫人 中野祐子さんを招き、福島第一原発から25キロ圏内の今日の現状をお話いただきます。（中野祐子さんは、鈴木 茂・恭子ご夫妻の長女）ご期待ください。

**本例会:6月24日(金) 18:30～20:30**

**例会場:かけはし都筑**

6月事務例会は、14日(火)18:00から田園都筑教会で行います。年度の締めくくりと、新年度に向けての準備を話し合います。新役員の方々、よろしくお願ひします。

### ＜第3期都筑区地域福祉保健計画の紹介＞

私たちのクラブはYMCAのランチがない地域に設立されたことから、当初から都筑区社会福祉協議会の会員となり、地域の社会福祉やボランティア団体に関する情報を得てきました。ボランティア・市民活動等分科会に所属し、災害ボランティアセンターの運営支援を継続し昨年災害ボランティアネットワーク立ち上げに貢献してきました。2011年には横浜市社協から感謝状・都筑区社協から表彰状が授与されました。

しかしながら、私個人が無知・無関心だったためか、まだまだ社協や行政の取り組みについて知らないことが多くあるとの反省から、今年から始まった「第3期都筑区地域福祉保健計画」を紹介します。

地域福祉保健計画とは、社会福祉法において、市町村が「地域福祉計画」を定めることになっており、横浜市では「福祉」と「保健」は誰もが住みなれた地域で安心して暮らすことができるまちをつくるという目指す姿が同じであり、一体的に推進することが幅広い市民参加につながることから「地域福祉保健計画」としています。

第1章 第3期都筑区地域福祉保健計画の概要

第2章 統計データや区民意識調査から見た都筑区

第3章 区計画における具体的な取組

第4章 地区別計画

上記の章立てで57ページの小冊子になっていますので、ダイジェストで紹介します。

**基本理念:人と人との「であい ささえあい わかちあい」**

**目指す姿:「であいが広まり、お互いにささえあい、地域がもつ力をわかちあえる地域づくり」**

区社協の活動

- 基本となる活動
- ◆ 区福祉保健活動拠点(かけはし都筑)の運営
- ◆ 福祉保健活動団体への支援
- ◆ ボランティアセンター
- ◆ 福祉教育や啓発活動
- 地域支援の活動
- 福祉サービス活動

地域ケアプラザ

- 地域の福祉・保健活動を支援し、福祉・保健サービスを身近な場所で総合的に提供する施設
- ◆ 地域活動交流
- ◆ 福祉・保健サービス
- ◆ 福祉・保健の相談・支援(地域包括支援センター)

具体的な取組

- 子ども・青少年分野の取組の推進
- 高齢者分野の取組の推進
- 障がい者分野の取組の推進
- 健康づくり分野の取組の推進
- 地域福祉保健計画を推進する基盤づくり

主な項目だけ挙げましたが、統計や区民意識調査なども、大変有益な資料で、今後のクラブ活動の方向性を探るうえで学ぶべき点が多くあります。(林 茂博 記)